

# 戦略の見直し - ローン・クレジット事業から完全撤退

## 結論と要約 ダウンサイドリスクを排除

### 【ローン・クレジット事業から完全撤退】

- ・事業環境の不透明性から、株主利益を鑑み撤退を決意
- ・保有するGMOローンクレジットホールディングス(株)の全株式(91.1%)を現経営陣に譲渡し、下期より非連結子会社化
- ・当該譲渡により連結上の減損損失(撤退損失)を64億円計上
- ・今後は新株予約権のみを保有、ダウンサイドリスクを排除し、**投下資本回収の途を残す**

### 【GMOインターネット証券他の売却と財務戦略】

- ・財務バランスを鑑み、GMOインターネット証券(株)の全株式(95.9%)を熊谷正寿に譲渡し、連結上の売却利益を28億円計上
- ・**結果として金融事業セグメントから撤退へ**
- ・GMO-HSの株式を場外取引で10%程度売却、売却利益を10億円程度計上
- ・ローン・クレジット事業撤退により自己資本を毀損するも、有価証券売却により財務基盤の回復を図り、かつ、BSは大幅にスリム化を実現

東証:9449



### 【ローン・クレジット事業撤退後の成長戦略】

- ・ゆるぎないインフラ・メディア事業の強みを最大限に活用